

令和6年度地震・津波防災訓練 (鹿児島県喜界町・内閣府)

実施報告書 (概要版)

鹿児島県喜界町について

(きかいちょう)

鹿児島県喜界町は奄美群島の5つの島の東北端に存在し、鹿児島から南へ383km、奄美大島の東約25kmの洋上にある。

集落は町内の全域に広がり、総面積の約40%にあたる23km²が耕地、約20%の11km²が林野で構成されている。概して平坦な島であり、海岸段丘など低い丘陵地が多く、島の東南から南北にかけて標高203mの丘陵が広がっている。

一般的に温暖多雨で海洋性亜熱帯に属し、年間平均気温が22℃、年間降水量は2,813mmとなっており、雨は梅雨時期から夏にかけて多く、この時期のみで年間降水量の大半を占めている。夏から秋にかけての雨は、台風や秋雨前線に伴う一時的な豪雨が多く、梅雨時期の豪雨とともに多くの災害を起こす原因となっている。

想定される地震については、桜島や開聞岳、霧島などの火山活動に伴って大きい地震が火山の周辺部で発生する可能性がある。また、鹿児島県周辺に震源域のある海溝型地震はないものの、南海トラフ沿いの巨大地震や日向灘、南西諸島の海域で発生する地震で津波や強い揺れの被害を受ける可能性が想定されている。



訓練概要

- 訓練想定：令和6年11月23日（土）午前9時00分頃、奄美大島の東の近海を震源とするマグニチュード8.2の地震が発生し、喜界町内では最大震度6強を観測する揺れが観測され、9時06分に、町内に最大高さ5.4mの津波が到達するという想定のもと、訓練を実施。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和6年10月26日（土）14:00～16:00
【地震・津波防災訓練】 令和6年11月23日（土）9:00～12:00
【訓練実施後WS】 令和6年12月14日（土）14:00～16:00
- 主催：喜界町、内閣府
- 参加者数：231名（第1部訓練）
訓練実施前WS：31名、訓練実施後WS：15名
- 参加機関：喜界町坂嶺校区住民、喜界町消防団、自主防災組織、地域女性団体連絡協議会、小規模多機能ホーム十五夜、大島地区消防組合喜界消防分署、奄美警察署、陸上自衛隊 奄美警備隊、自衛隊喜界島通信所、気象庁名瀬測候所、喜界島ジオパーク協議会
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、専門家等による講話、関係機関による各種体験訓練ほか
- 訓練の特色：津波避難訓練では、地域や住民等の特性を踏まえ、住民による自動車避難や要配慮者施設における職員による利用者の誘導等を実践した。

訓練の成果

【成果】

- 地震発生からの一連の行動を実践するシェイクアウト訓練、津波避難訓練に加え、専門家等による講話や関係機関による各種体験訓練を第2部として組み合わせることで、知識学習の効果が得られた。防災意識向上へつながっているものと期待される。
- 津波避難訓練については、アドバイザーの協力を得て事前に測量を行い、訓練前ワークショップにおいて自宅等の標高や災害リスクを理解した上で実施できた。自動車による避難者は、津波避難場所に到着してもエンジンをかけたまま警戒を継続し、高い津波の到達の際には直ちにさらに高い場所へ移動できるよう工夫していた。
- 専門家等による講話は、東日本大震災での経験と教訓、津波警報等の解説のほか、地域団体による地元の地形特性の防災上の特徴等について話題提供され、参加者は多面的な学習ができた。

【課題】

- 要配慮者施設での津波避難は、日頃から個々の利用者特性に応じた装備（車いす等）や誘導時の配慮事項等を確認しておき、継続的な訓練実施が必要である。
- 夜間や悪天候時の避難についても訓練しておく必要がある。
- 訓練実施地区が離島である特性を再認識し、救援活動に時間を要することを考慮した、地域住民による避難所開設・運営等についても取り組む必要がある。

10月26日(土) 14:00～16:00 訓練実施前ワークショップ

- ・「地震・津波時の避難を考えるー喜界町で自然災害に備える」をテーマに、防災専門家（岩船昌起鹿児島大学教授）による講話を行った。
- ・参加住民が訓練実施地区周辺の地図を用いて避難路の確認や避難時の課題等を話し合った。

▼津波避難に関する講話



▼地図を用いた話し合い



11月23日(土) 9:00～12:00 地震・津波防災訓練

- ・喜界町内で最大震度6強を観測する揺れが観測され、大津波警報が発表された想定のもと、地区住民は、シェイクアウト訓練、津波避難訓練を行った。
- ・地区内の指定避難所において専門家等による講話、関係機関による各種訓練・展示を実施した。

▼津波避難訓練
(津波避難場所の様子)



▼津波避難訓練
(要配慮者施設の様子)



▼専門家による講話



▼炊き出し訓練



▼非常持出品の展示・啓発



12月14日(土) 14:00～16:00 訓練実施後ワークショップ

- ・「地震・津波に備えるー避難行動と避難生活の計画づくり」をテーマに、防災専門家による振り返りと避難計画に関する講話を行った。
- ・参加者による避難訓練の検証とブラッシュアップに関する話し合いを行った。

▼ふりかえり講話



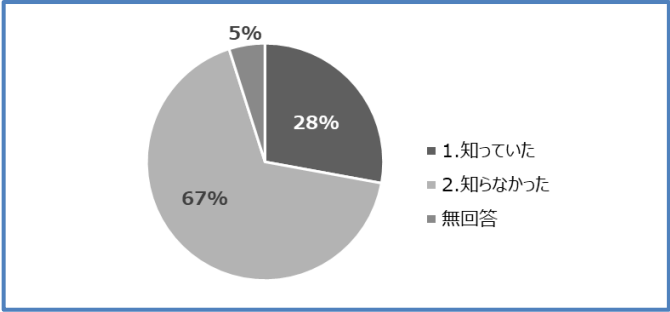
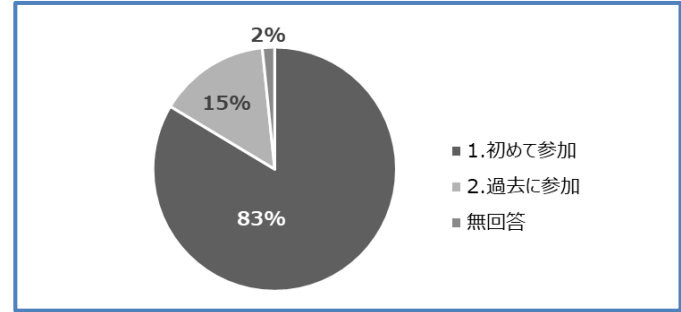
▼参加者の話し合い



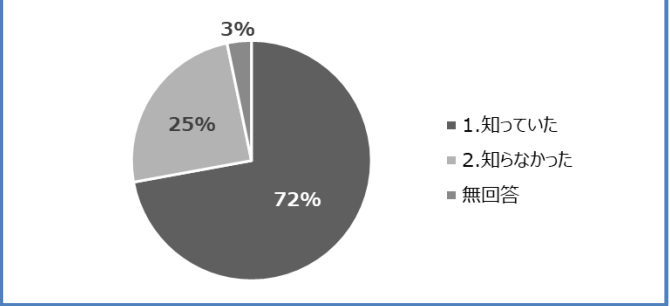
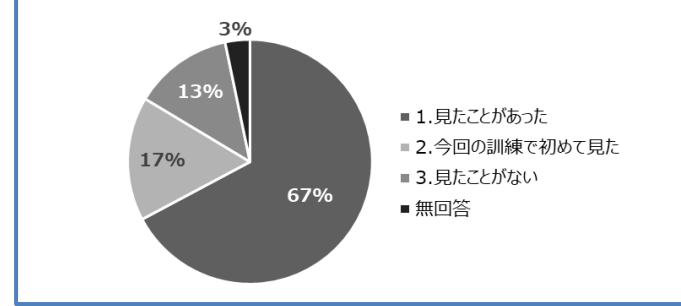
アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

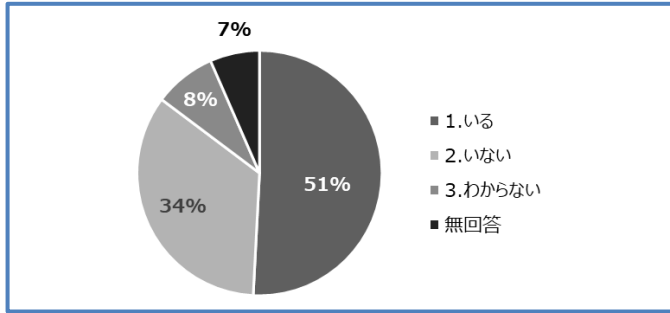
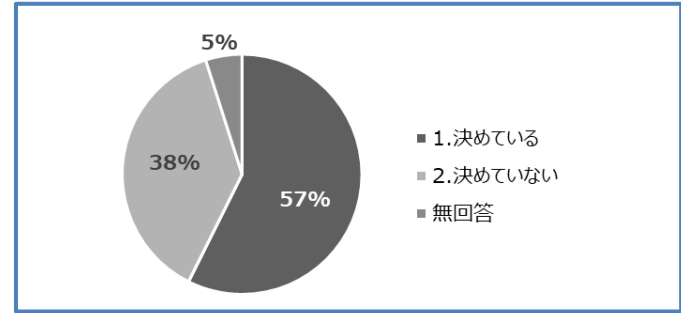
■地震・津波防災訓練に参加したのは、初めてですか。 ■ 1 1月5日が、「津波防災の日」であることを知っていましたか。



■町で作成している「津波ハザードマップ」を見たことがありますか。 ■ 津波に対する避難先や避難経路を知っていましたか。



■災害時に家族同士で、どのように連絡を取り合うかを、家族の中で決めていますか。 ■ あなたの周辺に、避難行動要支援者（※避難のため様々な支援が必要な方）は、いらっしゃいますか。



■あなたが避難する際、可能ならば避難行動要支援者の避難を支援したいと思いますか。 ■ 自治会や隣近所で、災害時の避難について話し合ったことはありますか。

